



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3932 号 2017.10.2 発行

ギャンブル依存疑い、推計70万人 賭け金の平均は… 朝日新聞 2017年9月30日
ギャンブル依存症の疑いがある人が全国に約70万人いるとの推計を、厚生労働省が29日に発表した。カジノ開設に向けた検討が進むなか、ギャンブル依存症対策は海外に比べて遅れているとされ、厚労省は「実態をふまえて、相談機関や医療機関の整備などを進めたい」としている。

ギャンブル依存症の調査は過去に何度か行われたが、今回は初めて全国規模の面接調査となった。研究班は「より実態を反映していると思う」とする。

調査は5～9月、無作為に選んだ20～74歳の1万人に実施。4685人が回答した。「ギャンブルで負けたとき、取り戻そうとして別の日にギャンブルをしたか」「やめようと思っても不可能だと感じたことがあるか」など12項目について過去1年にあったかどうか聞き、点数化して判定した。

その結果、依存症が疑われる20～74歳の人全国に0.8%、約70万人いると推計した。男性は1.5%、女性は0.1%。調査で依存症が疑われた人の平均年齢は46.5歳。1カ月の賭け金は平均約5.8万円で、約8割の人はパチンコ・パチスロに最もお金を使っていた。

また、生涯のうち一度でも依存症だった疑いのある人は推計3.6%（約320万人）。同じ判定基準で調査した海外の例では、1～2%以下の国が多く、日本は比較的高いという。

調査を担った国立病院機構久里浜医療センターの松下幸生副院長は29日の会見で「電話調査の国が多いなど、調査方法が異なるため比較は難しい」としたうえで、「日本では外国より（パチンコなど）ギャンブルが身近にあり、いつでも利用できるという環境の違いが影響している可能性はある」と指摘した。（生田大介）

「障害者への差別や偏見ある」80%超 内閣府調査 NHKニュース 2017年9月30日
内閣府が行った「障害者に関する世論調査」によりますと、世の中には障害者への差別や偏見があると思うと答えた人が、80%以上に上りました。

内閣府は、障害者に対する国民の意識を把握するため、先月、全国の18歳以上の男女3000人を対象に世論調査を行い、59%に当たる1771人から回答を得ました。

それによりますと、「世の中には障害のある人に対して障害を理由とする差別や偏見があるか」と尋ねたところ、「あると思う」が50.8%、「ある程度はあると思う」が33.1%で、合わせて83.9%でした。

「ある」と答えた人に、5年前と比べて改善されたか質問したところ、「改善された」と答えた人は50.7%、「改善されていない」と答えた人は41.5%でした。

また障害者への差別をなくすため、国や地方自治体に対し、必要な施策を実施することを義務づけるなどした「障害者差別解消法」が、去年4月に施行されたことを知っているか尋ねたのに対し、「知っている」と答えたのは21.9%にとどまりました。

内閣府は「去年、相模原市の知的障害者施設で殺傷事件があり、こうした事件を風化させないためにも、命の大切さや法律の周知を進める啓発活動により力を入れたい」としています。

障害者の事業所、相次ぐ閉鎖 背景に「助成金頼み」？ 佐藤啓介、船崎桜

朝日新聞 2017年10月2日



A型事業所数と利用者数

障害者たちの働く場となる事業所で、経営が行き詰まって閉鎖される事態が相次いでいる。「助成金頼み」になりかねない構

造がある可能性もあり、厚生労働省が対応に乗り出した。

■ 5カ所 225人、突然失職

7月末、岡山県倉敷市にある五つの事業所が一斉に閉鎖された。利用していた障害者たちが閉鎖を知ったのは、その1カ月ほど前だった。

事業所は3年前から今年にかけて、倉敷市の指定を受けて設置。一般社団法人「あじさいの輪」と、その理事長が経営する株式会社が運営していた。チラシの封入や軍手の補修といった業務をしていたが、「経営が厳しくなり、給与を支払えなくなった」ことが閉鎖の理由だった。

閉鎖で職を失った利用者は計225人。倉敷市は7～8月にハローワークなどと共同で企業の合同説明会や面接会を開いたが、9月中旬までに再就職が決まったのは83人にとどまる。



乳がん撲滅願いライトアップ 世界遺産の姫路城

西日本新聞 2017年10月01日

乳がん月間が始まり、ピンク色にライトアップされた姫路城＝1日夜、兵庫県姫路市

乳がんの正しい知識の広がりや早期検診の促進を訴え、撲滅を目指すピンクリボン運動の一環として、乳がん月間が始まった1日、兵庫県姫路市の世界遺産で国宝の姫路城が、乳がんに向き合う希望の色とされるピンクにライトアップされた。



姫路城近くの公園では、点灯のカウントダウンがあり、地元拠点に置く女子サッカーやバレーボールチームの選手らがピンクのTシャツやユニホームで登場。午後6時半ごろ、大

天守がピンクに照らされた。

ライトアップを友人と共に見に来た姫路市の高校2年生立石菜々子さん(17)は、「検診はちょっと怖さもあるが、できるだけ早く受診したい」と話していた。

ハウステンボス内に保育園 育児支援拡充で人材確保へ 産経新聞 2017年10月1日
ハウステンボス内に開設された保育園に入園した子どもたち＝1日、長崎県佐世保市



長崎県佐世保市の大型リゾート施設「ハウステンボス」は1日、施設内に従業員などを対象にした保育園を開設した。テーマパークでの保育所の開設は珍しいという。育児支援を拡充することで、人材の確保につなげるのが狙いで、地方企業でも福利厚生に注力する姿勢が鮮明になっている。

入場口近くの従業員事務所を改修した。午前7時から午後10時まで毎日運営し、ハウステンボス社員のほか近くで勤務する人も利用できる。定員は60人で、この日は入園した女児（1）と男児（2）を保育士6人が迎えた。

ハウステンボスによると、若手社員の約6割を女性が占めており、1日現在で15人が育児休暇を取得中。企画に携わった人事総務部の中平佳菜子さん（37）は「退職や休暇延長をせず、安心して働くことができる職場をつくっていく」と話す。

「脳障害者への支援を」 奈良でパイロットウォーク 産経新聞 2017年10月2日

脳関連障害がある人への支援や脳障害の予防を呼びかけるため、社会奉仕団体「奈良パイロットクラブ」は1日、「2017全国統一パイロットウォーク」を奈良市で行った。

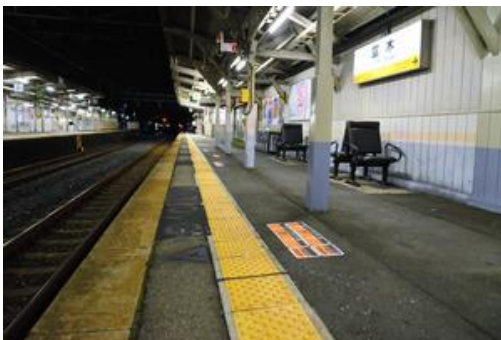
パイロットクラブは米・ジョージア州で女性の奉仕団体として発足。わが国では昭和26年に東京で初めて設立され、県内では昭和59年から奈良パイロットクラブが様々な奉仕活動を行っている。

「全国統一パイロットウォーク」は今年で21回目となり、東京都や沖縄県など全国36カ所で同時に行われた。

県内での全国統一パイロットウォークには、同クラブのメンバーやボランティアの学生など約50人が参加。奈良市中部公民館で「歌って笑って健康づくり」をテーマに、参加者たちが音楽療法士と歌を歌ったり体を動かしたりした後、同公民館を出発。「広げよう友情と奉仕の輪」と書かれた横断幕やプラカードを持って支援を呼びかけながら、三条通りや猿沢池を経由し、興福寺を目指して歩いた。

同クラブの杉村良子会長（72）は「この運動で私たちの活動や障害者が共に生きているということを周りに知ってもらえれば」と話していた。

視覚障害の男性が ホームから転落、はねられ死亡 大阪 朝日新聞 2017年10月2日



男性が転落したJR阪和線富木駅のホーム＝2日午前1時59分、大阪府高石市取石2丁目、渡辺元史撮影

1日午後9時25分ごろ、大阪府高石市取石2丁目のJR阪和線富木（とのき）駅で、同市の男性（59）がホームから転落し、天王寺発和歌山行きの下り快速電車（8両編成）にはねられた。男性は病院に搬送されたが、まもなく死亡が確認された。近くには視覚障害者が使う白杖（はくじょう）が落ちていた。

府警によると、男性の家族は、男性が若い頃から全盲だったと説明しているという。府警は男性

が過って転落したとみて捜査している。

高石署によると、男性の所持品のバッグには、障害者手帳があったという。JR西日本

によると、同駅のホームに点字ブロックはあるが、転落を防ぐホームドアは設置されていない。

増え続ける訪日外国人客にも伝えやすい 広がる「駅ナンバリング」



産経新聞 2017年10月2日
東京メトロの駅ホームにある行き先案内新宿駅の表示案内

2020年東京五輪・パラリンピックを前に増え続ける訪日外国人客らのため、駅の案内標識に番号やアルファベットをつけて分かりやすくする「駅ナンバリング」が広がっている。外国人に電車の乗り換えを尋ねられたら、慌てずゆっくりと、数字で伝えてみてはどうだろう。(牛田久美)

◆ JYはJR山手線

周辺の私鉄駅を含めると世界一の乗降客数を誇る東京の新宿駅。JR新宿駅の山手線ホームの案内標識には、黒文字で「JY17 新宿」とある。JYはJR山手線。17は東京駅から反時計回りに数えて17番目を示す、新宿の駅番号だ。

JR東日本広報部によると、駅ナンバリングは2020年の東京五輪パラリンピックを見据えて昨年8月から開始。平成28年度は79駅に導入した。

番号は原則として東京駅を起点に各駅に付与。東京駅が起点でない場合は南西から北東へ。例えば、京浜東北線は、神奈川・大船駅が01で埼玉・大宮駅が47。

欠番もある。山手線の「JY26」と京浜東北線の「JK21」は、品川～田町間に建設予定の新駅に割り当てるといふ。

主要駅には、東京を示すTYO、新宿のSJKなどの略称も導入。国際空港の略称、成田空港のNRT、羽田空港のHNDなどと関連して訪日客に分かりやすくなった。AKBは赤羽かと思いがちだが秋葉原のことで、赤羽はABN。

一方、JRに先んじて16年に導入した東京メトロは表示の改良を続けている。同社広報課によると、丸ノ内線の方南町～中野新橋駅間は、分岐線（ブランチ・ライン）を意味する「b」をつけた。方南町はMb03だ。

◆ 迷子になっても安心

もし、東京都内の観光名所に電車で行く方法を聞かれたら？

例えば、外国人向け宿泊施設が多い東京・浅草周辺から上野駅（東京国立博物館、上野動物園など）へ出て、上野御徒町駅から両国駅（国技館、すみだ北斎美術館など）経由で、近年、焙煎コーヒーのカフェが増えた新名所、清澄白河駅へ行く場合は「G19→16→E09→12→14」。ウエノオカチマチエキ、キヨスミシラカワエキなどのローマ字に不慣れた人たちにも伝えやすそうだ。JR西日本も、来年3月、近畿エリアの266駅に「駅ナンバー」の導入を予定している。

駅ナンバリングは、観光客だけでなく日本に住む外国人にも好評だ。コンビニエンスストアで働きながら日本語専門学校へ通うスリランカ人、ヘーマンタ・ルクシャーンさん（24）＝東京都新宿区＝は日本語が流暢（りゅうちょう）だが、駅の番号は大きな助けという。「迷子になったとき、自分がどこにいるのかすぐ分かる。とっても便利で安心して外出できる」と笑顔で話した。

「うんこ漢字ドリル」 大ヒットは東海高の縁 山本周嗣・文響社社長が語る(上)

日本経済新聞 2017年9月25日

国公立医学部合格者数10年連続日本一を誇る中高一貫の男子校、私立東海中学校・高等学校（名古屋市）。卒業生の一人に、ベストセラー「うんこ漢字ドリル」の出版元、文響社（東京都港区）の山本周嗣社長（41）がいる。「ドリルが大ヒットしたのは、実は東海での

縁のおかげ」と明かす山本氏に学校での日々を聞いた。

「うんこ漢字ドリル」は同級生とともに作った。

「うんこ漢字ドリル」を一緒につくることになる映像クリエイターの古屋雄作や、長年のビジネスパートナーで「夢をかなえるゾウ」などのベストセラーを書いた水野敬也も、東海で過ごした時間が才能の開花につながったのだと思います。

東海と同窓生は、他の学校に比べて絆がとても強いように感じます。「うんこ漢字ドリル」も、まさに同級生の絆の強さによって生まれました。そうした絆を強めているのは、ユニークな学校行事にあると思っています。

中でもおそらく、みんなの印象に一番強く残っているのは、「水練会」でしょう。中学1年の夏に三重県の海で行う臨海学校のことで、全員がふんどし姿で遠泳します。遠泳もきついです。ふんどしを締めるという体験も、あの時が最初で最後でした。そうした不思議で強烈な体験をすることで、強い仲間意識が芽生えるのだと思います。

卒業生には、元首相もいれば、著名な医師や企業家、文化人も名を連ねる。元プロレスラーまでいる。

いろいろな分野で多くの卒業生が活躍しているのは、学校の教育方針もあると思いますが、それ以上に生徒数の多さが影響していると個人的には思います。

東海は、私が在籍していた当時、中学が1学年約400人、高校は高校受験で入った100人を加えて1学年約500人というマンモス校でした。分母が大きければ、その分、生徒の個性も多様になります。そこに、自主性を重んじる校風がうまく作用し、生徒の個性や長所がさらに伸びる。結果的に、秀でた才能を発揮する人材を様々な分野に輩出することになるのではないのでしょうか。

東海地区では数少ない私立の進学校なので、愛知県内ばかりでなく、近隣の静岡や三重、岐阜などからも優秀な生徒が大勢集まってきて切磋琢磨します。それも、多くの分野で卒業生が活躍する理由の一つだと思います。

私が東海中学に進学したのは、教育熱心な親の意向があったのは間違いないと思います。塾には小学5年生から通い始めました。塾通いを始めると、何となく周りも自分も中学受験するのが当然というような雰囲気になります。塾の成績は悪くありませんし、学校と違ってテストの成績が張り出されるので、勉強するモチベーションが上がりました。新しい友達もできるし、結構楽しんで塾に通った記憶があります。そんな生活でしたので、中学受験は私にとってはごく自然の成り行きでした。

成績は途中までトップクラスだった。

入学してからも、定期テストでよい点数をとることがモチベーションになり、中学3年までテストの成績はずっとトップクラスでした。順位は、400人中いつもだいたい10~20番台で、理科のテストでは学年で1番をとったこともあります。とても真面目な生徒でした。

ところが、中3の途中から突然、まるで滝の水が流れ落ちるように、成績が急降下し始めました。理由は明らかでした。中3の時に、当時華やかな部活に見えたアメリカンフットボールを始めたからです。それまでは、ほぼ勉強一筋の生活でしたが、先輩や周りの友達を見ていたら、何か違う経験をしてみたいという気持ちが急に強まりました。年頃だったので、華やかで目立つものに対する憧れの気持ちがあったと思います。

アメフト部に入部し、ハードな練習の日々が始まりました。週末も練習した記憶があります。ヘトヘトに疲れて家に帰るので、机に向かう気力は残っていません。勉強量の減少に比例し、成績もどんどん落ちて行きました。

成績が落ちて部活は続けました。筋トレで自分の体に変化していくのが面白かったし、どんどん上手になっていくのが嬉しかったのです。最初は親も私の成績の落ち込みを見て心配していましたが、何を言っても私が聞かないので、途中から完全に諦めたようで何も言わなくなりました。

学校も生徒の自主性を尊重する方針なので、成績が下がってもうるさいことは一切言

ません。成績表を張り出すなどして、生徒のモチベーションを上げる手助けはしますが、最後は本人任せという姿勢です。

結局、いったん下がった成績は最後まで戻らず、卒業するころの成績は下から数えたほうがはるかに早いという状態でした。大学受験も、試験当日になっても日本史の勉強が江戸時代までしか終わっていないような状況で、結果は目に見えていました。

高2の時、成績下位のグループに分けられた。

東海高校は、2年に上がるときに全生徒をそれまでの成績によってA群、B群の2グループに分ける独特の制度があります。簡単にいえば、A群は勉強のできる生徒、B群はできない生徒です。成績が落ち続けていた私は、ある程度予想はしていましたが、やはりB群でした。

A群とB群は校舎も別々でした。受験する大学も違ってきます。東海高校は毎年、東京大学に数多くの合格者を出しますが、東大を受けるのはみんなA群の生徒。合格者数が全国トップクラスの国公立医学部も、だいたいA群からです。類は友を呼ぶというのか、高1の頃に仲の良かった友達は、だいたい同じB群に入りました。

A群、B群の話をよその人にすると、「残酷！」という反応が返ってきますが、私自身は当時も今も、特に残酷だとは思っていません。確かにB群行きを宣告された瞬間は少しショックでしたが、冷静に考えれば、勉強をさぼっていた自分が悪いんです。勉強を頑張っている人もたくさんいる中で、自分は頑張れなかった。それだけです。それに在学中はA群かB群かを否応なく意識しますが、いったん卒業すれば、みんなほとんど気にせず、同じ同窓生として付き合い合います。

ユニークな学校行事が生徒同士の絆を深めた。

東海は浄土宗の学校なので、宗教の授業があります。僧侶でもある校長の講話を聴いたりして、生きるとは何か、平和とは何かといったことを考えさせられます。また、中学では、昼に弁当を食べる前に必ず「食(じき)作法」をします。合掌し、天地の恵みに感謝の意を表す文言を全員で唱え、最後に「いただきます」と言って食べ始めるのです。中学の3年間、毎日唱えていたので、今でもそらんじることができます。これも、絆を強める共通体験の一つではないかと思います。(ライター 猪瀬聖)

勉強ダメでもベストセラー次々 東海同級生3人の輪 山本周嗣・文響社社長が語る(下)

日本経済新聞 2017年10月2日

ベストセラー「うんこ漢字ドリル」を生んだ文響社(東京都港区)の山本周嗣社長(41)が語る「リーダーの母校」。東海地方一の進学校、私立東海中学校・高等学校(名古屋市)に進んだ山本氏だったが、勉強は途中で挫折。しかし、そこで得た同級生との絆は、その後、ヒット作を次々と世に送り出す原動力となった。

「うんこ漢字ドリル」は、今年3月の発売以来、発行部数が270万部を超えた。

ドリルの作者である古屋雄作は、東海の同級生です。クラスが別々だったこともあり、互いにほとんど面識はありませんでしたが、社会人になってから、私の長年のビジネスパートナーで、やはり東海の同級生の水野敬也を介して知り合いました。

古屋は本職が映像ディレクター。彼の作品に私が出演するなどして、その後もつきあいが続きました。そのうち彼が「うんこ漢字ドリル」の元になった「うんこ川柳」を私に見せてくれて、それが「うんこ漢字ドリル」の誕生へとつながっていったのです。

私から見ると、彼は非常に才能があるのですが、クリエイターという職業は日本ではなかなか認められない傾向があります。こんなに才能があるのだったら何とかしてあげたい。同級生だけに、彼を応援したい気持ちがおそらく他の人より強く、それがいい作品を生む要因の一つになったと思います。

一方、水野とは中3の時に初めて同じクラスになり、高校でもクラスメートでした。非常にウマが合い、授業中も席が近かったことから、先生の話はそっちのけで、よく無駄話をしていました。学校の外でもよく一緒に遊んでいました。

水野はとてもユニークな男で、東京の私立大学卒業後、就職せずにお笑い芸人をしていた時期がありました。2003年に「ウケる技術」という本がベストセラーになりましたが、あれは、芸人をやめた彼と、証券会社のトレーダーだった私と、広告代理店のクリエイターだった別の東海同級生と3人で会った時に、水野の経験もあって、笑いの教科書をつくらうという話で盛り上がり、実際に3人の共著で出版したものです。

その後、水野は、収入が不安定で私と同居していた時期もありましたが、しばらくして、ミリオンセラーとなった「夢をかなえるゾウ」をはじめ、次々とヒット作を書き始めました。私は、トレーダーの仕事には満足しつつも、いつかは水野と一緒にものづくりの仕事をしたいという思いが頭から離れませんでした。

2008年、これ以上遅らせたなら水野と一緒に仕事をする機会は一生やってこないと思い、意を決して証券会社を退職。水野をマネジメントするミズノオフィスを共同で設立し、私が社長に就任しました。さらに、2年後の10年、文響社を創業し、水野にも役員として入ってもらいました。

今こうして本がヒットしているのも、東海の縁のおかげだと本当に思います。

気心の知れた間柄が、ヒット作を生む要因となった。

私が作品をつくる際に大事にしていることに、「妥協しない」「言いたいことを言う」「摩擦を恐れない」といったことがあります。作品を出すといったん決めたら、完璧なものができるまで妥協せずにとことんやります。

そんな時、一緒に仕事をする人間が気心の知れた間柄であれば、非常にやりやすい。例えば、「うんこ漢字ドリル」は完成までに2年以上かかりましたが、その間、実は私が何度か大きなミスをやらかし、そのたびに、最初からやり直したいと古屋にお願いしました。

普通の著者と編集者の間柄なら、著者に間違いなくキレられていたでしょう。古屋にも「普通なら心折れているところだ」と言われました。そこまでしても関係がこじれることなく、素晴らしい作品に仕上げることができたのは、東海で6年間、同じ釜の飯を食った信頼関係があったからというのもあると思います。

水野との仕事も同様です。彼は文響社でも「人生ニャンとかなる！」などヒット作を連発してくれています。よく「学生時代の友人は社会人になっても損得勘定抜きで付き合える」と言いますが、水野にしても古屋にしても、まさにそういう関係です。それが仕事上でもプラスに働いているのだと思います。

仕事以外でも、同級生の絆のありがたみを感じる事が多々あります。私も今年41歳になり、親も高齢です。信頼できる医者がいればいいなと思うことがよくありますが、幸い、東海の卒業生には医者が多く、仲のよかった同級生の中にも何人か医者がいます。何かあったときに、気軽に相談に乗ってくれ、とても有難いことだと思っています。

また、初めて会うような人でも、同窓生というだけで、非常に親近感がわきます。つい先日も、仲の良い同級生を介して、弁護士になった同級生と知り合い、食事をしました。在学中は言葉を交わした記憶はありませんが、会った瞬間、互いに「そう言えばこんなやつ、いたなあ」という感じですぐに打ち解け、「何かあったら遠慮なく相談してよ」と言っ

出版不況といわれるなか、文響社の業績は右肩上がりが続く。

最近しみじみ思うのは、「人生に奇跡は起こらない」ということです。ヒット作も奇跡では生まれません。私は、作品づくりにあたっては、まず、徹底的に調査をします。世の中の人は何を求めているのか。どんなものをつくれれば、より多くの人に喜んでもらえるのか。そうした努力があって初めて結果を残す権利を与えられるのだと思います。

東海時代を振り返ってみれば、私は勉強するという努力を怠ったために、成績が急降下しました。勉強しなくても試験は何とかなるのではないかと自分に期待したこともありましたが、それは甘い考えで、世の中当たり前のことしか起きません。そういった意味ではきわめて完璧にできていると思います。経営者となって、人生に奇跡は起こらないと思うようになったのも、遡れば、東海時代のほろ苦い経験が教訓として私の心の中に生きてい

るからかもしれません。

また、私は文響社をつくる際に、「人間の成長や教育にエンターテインメントを融合することによって、お客様が食べやすい作品をつくる」という方針を掲げました。この軸は今も全くブレていません。そこが私たちの強みであり存在価値だと思うからです。

どうすれば自分の存在価値を見出せるかという考え方も、マンモス校の東海で6年間過ごし、いろいろな人間との出会いや日々の様々な経験を通じて、自ずと身に付いたことではないかと思っています。いろいろな経験をさせてくれ、人との縁もつくってくれた東海は、本当にありがたい存在ですね。(ライター 猪瀬聖)

解離性同一性障害 米国人女性が経験語る「理解と治療を」

NHK ニュース 2017年10月2日

心身に深い傷を負ったことが原因で自分の中に複数の人格を現れる「解離性同一性障害」を発症したアメリカ人の女性が、みずからの経験を語る講演会が東京都内で開かれました。講演会は虐待や暴力を受けた女性を支援する「NPO法人全国女性シェルターネット」が開き、アメリカ人の弁護士、オルガ・トゥルヒーヨさんが、幼いころから10代にかけて父や兄から性的な虐待を受け、解離性同一性障害を発症した経験を語りました。

解離性同一性障害は虐待や暴力が繰り返されるなど心身に深い傷を負ったことで発症すると言われ、当時の記憶が失われるケースもあります。

オルガさんも一時、虐待の記憶が失われていましたが、30代になり、医師のカウンセリングを受ける中で、心の中に幼い頃の何人もの自分が現れ、つらかった経験を大人の自分に向かって語りかけたといいます。

オルガさんは「暴力を受けた痛みや恐怖の記憶を、例えばさまざまな部屋に閉じ込めていたが、幼いころの自分が現れ1つずつ思い出すことで記憶がつながり、回復に向かっていった」と述べ、解離性同一性障害への理解を求めるとともに、カウンセリングなど適切な治療を受ける大切さを訴えていました。

参加した性暴力の被害者を支援する団体の女性は「暴力など強いストレスによって誰にでも解離性同一性障害が起こりえることがわかった。今後の支援に生かしたい」と話していました。



精神科医「周囲が理解し専門治療を」

解離性同一性障害について、精神科医の飛鳥井望さんは「患者は、幼児期からの虐待や不適切な養育などで強いストレスがあったり、トラウマを抱えたりしているケースが多いという報告がある。周りの人が病気だと理解して専門的な治療につなげることが大事で、時間をかけたカウンセリングが治療の中心になっていく」と話しています。

介護現場、虐待・身体拘束の疑い3割 厚労省委託調査

日本経済新聞 2017年10月1日

介護施設の職員による高齢者への虐待や身体拘束が疑われる行為を介護相談員の33.1%が目撃していたことが、厚生労働省の委託調査で分かった。虐待が明確な事例は調査されているが、疑われる行為の実態は明らかになっていなかったという。同省から委託を受けたNPO法人は今年度、虐待疑いの事例をまとめた手引を作り、介護相談員による現場指導に生かす。



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行